

# 2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

2023年11月24日



・ 2024年3月期 第2四半期 決算報告	P 2	～	P 7
・ 2024年3月期 通期計画	P 8	～	P 15
・ 利益還元（配当金）について	P 16		
・ 中期経営計画の進捗について	P 17	～	P 19
・ SDGsへの取り組み	P 20		
・ 企業価値向上への取り組み	P 21	～	P 29
・ 国際事業の取り組み	P 30	～	P 32
・ 脱炭素への取り組み	P 33	～	P 34
・ 社会貢献活動	P 35	～	P 36

# 決算ハイライト

■ 交通運輸インフラの減収、新規要素の多い案件増加等により前年同期比で減収減益。

(単位：億円)	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q	
	実績	実績	実績	前年同期比
売上高	352	350	<b>341</b>	▲8
営業利益	8	9	<b>3</b>	▲6
経常利益	16	16	<b>11</b>	▲5
親会社株主に帰属 する四半期純利益	9	7	<b>5</b>	▲2

# セグメント別①売上高・セグメント利益

- 交通運輸インフラ事業 : 鉄道信号が減収減益となり、前年同期比で減収減益。
- ICTソリューション事業 : 駐車場事業の復調により、前年同期比で増収増益。

(単位：億円)	2022/3 2Q		2023/3 2Q		2024/3 2Q		前年同期比	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
交通運輸インフラ事業	197	17	191	14	<b>170</b>	<b>4</b>	▲20	▲9
ICTソリューション事業	154	7	158	12	<b>170</b>	<b>16</b>	+12	+3
全社費用	-	▲16	-	▲17	-	▲ <b>17</b>	-	▲0
合計	352	8	350	9	<b>341</b>	<b>3</b>	▲8	▲6

# セグメント別②受注高・売上高・受注残高

(単位：億円)	2023/3 2Q			2024/3 2Q			前年同期比		
	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高
鉄道信号	390	174	612	242	153	632	▲147	▲20	+19
スマートモビリティ	32	17	23	33	17	24	+1	▲0	+1
交通運輸インフラ事業	422	191	635	276	170	656	▲145	▲20	+21
AFC	174	127	207	227	128	242	+52	+0	+34
R&S	35	31	14	62	42	38	+27	+11	+23
ICTソリューション事業	210	158	222	290	170	280	+80	+12	+57
合計	633	350	858	567	341	937	▲65	▲8	+78

## 鉄 道 信 号

半導体入手難の影響による案件の繰り延べにより、売上が減少。  
受注は海外案件の前年同期比減少による。

## ス マ ー ト モ ビ リ テ ィ

交通管制システム案件等の受注があったが、受注・売上ともに前年同期比で横ばい。

## A F C

改札機、券売機、ホームドア、駐車場の受注・売上が増加。

## R & S

3D距離画像センサ、ロボティクス等の受注・売上が増加。

# セグメント別③国際事業の状況

(単位：億円)	2023/3 2Q			2024/3 2Q			前年同期比		
	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高
交通運輸インフラ うち海外	232	29	361	70	32	377	▲162	+2	+15
ICTソリューション うち海外	40	5	54	0	4	44	▲40	▲0	▲10
海外合計	273	33	416	71	37	421	▲202	+3	+5

## 海外全体

受注高は、昨年大型案件により過去最高であったため、前年同期比で大幅に減少。

## 海外鉄道信号

台湾やフィリピン等で鉄道信号システムの受注・売上があった。

## 海外AFC

インドやバングラデシュ等でAFCシステムの受注・売上があった。

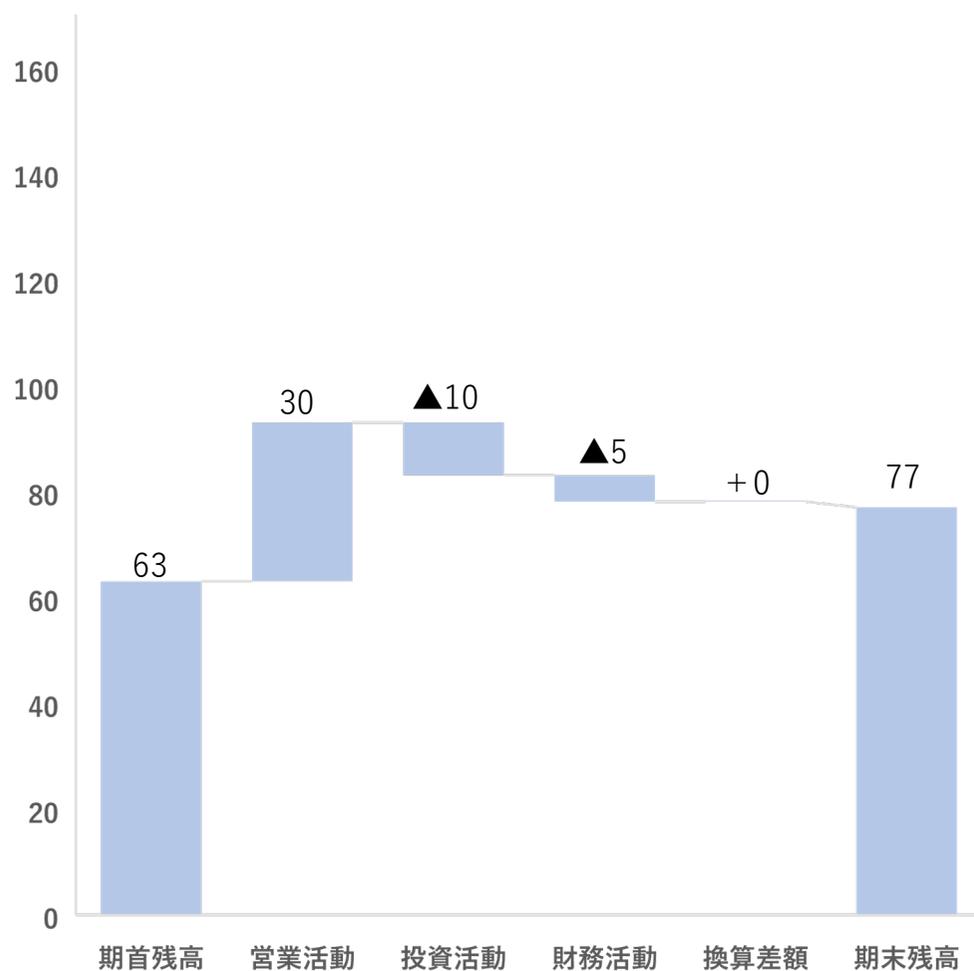
■ 売上債権・棚卸資産が総資産に占める割合は前期末より減少し、自己資本が微増。

(単位：億円)	2023/3 2Q	2023/3	2024/3 2Q	
			実績	前期末比
総資産	1,323	1,460	<b>1,432</b>	▲27
売上債権・棚卸合計	738	856	<b>784</b>	▲72
有利子負債	126	175	<b>137</b>	▲38
自己資本	863	893	<b>901</b>	+7
売上債権・棚卸比率	55.8%	58.6%	<b>54.7%</b>	▲3.9pt
有利子負債比率	9.6%	12.0%	<b>9.6%</b>	▲2.4pt
自己資本比率	65.2%	61.2%	<b>62.9%</b>	+1.7pt

# キャッシュフロー計算書

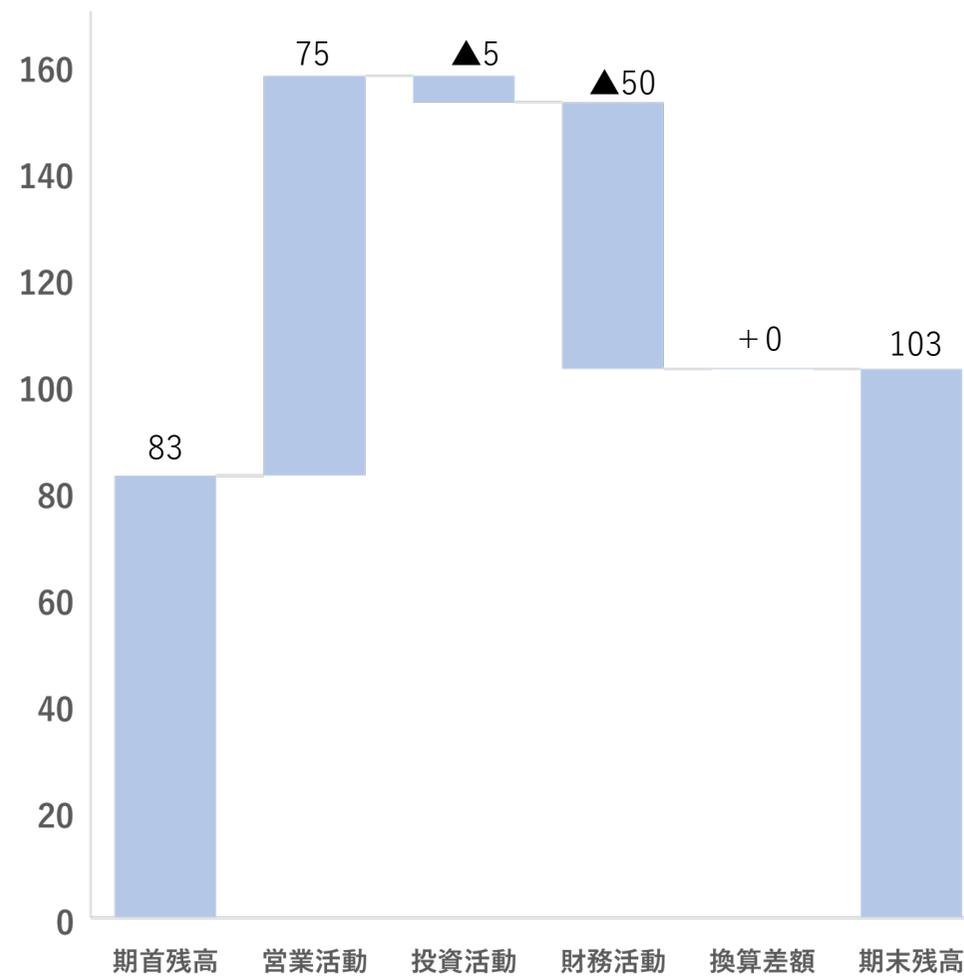
■ 借入金の返済等により、現金及び現金同等物の四半期末残高は103億円となった。

(単位：億円)



2023/3 2Q

(単位：億円)

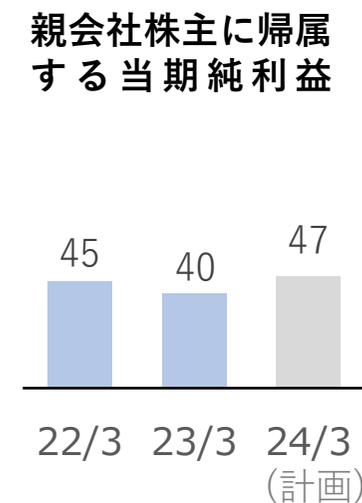
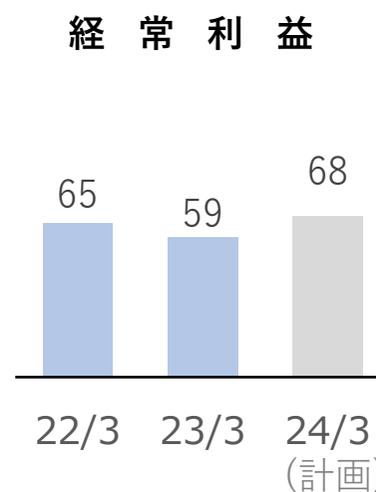
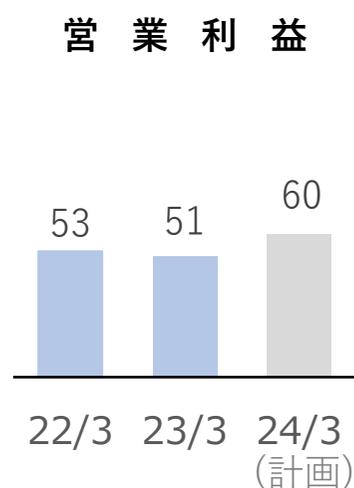
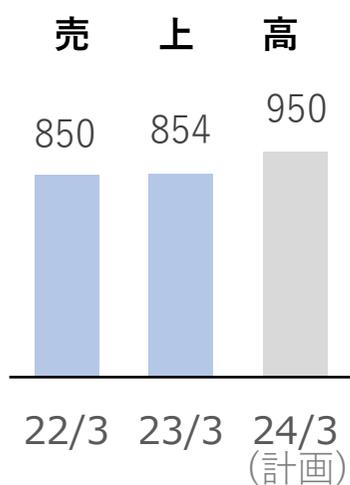


2024/3 2Q

# 2024年3月期通期計画

計画

(単位：億円)	2022/3	2023/3	2024/3	
			計画	前期比
売上高	850	854	<b>950</b>	+ 95
営業利益	53	51	<b>60</b>	+ 8
経常利益	65	59	<b>68</b>	+ 8
親会社株主に帰属 する当期純利益	45	40	<b>47</b>	+ 6



# 受注高・売上高・受注残高 推移（鉄道信号）

計画

## 鉄道信号事業

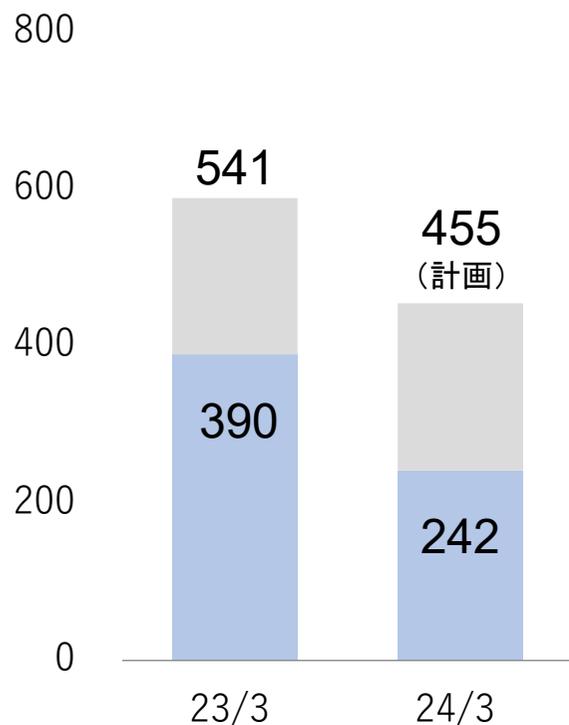
アフターコロナにおけるお客様との価値共創を目指し、CO2削減に寄与するSPARCS、固定費削減、オペレーションコスト削減に資する遠隔監視、省力化等の分野に引き続き取り組む。

主な事業内容：自動列車制御装置（ATC）、無線式列車制御システム（SPARCS）ほか

### 受注高

(億円)

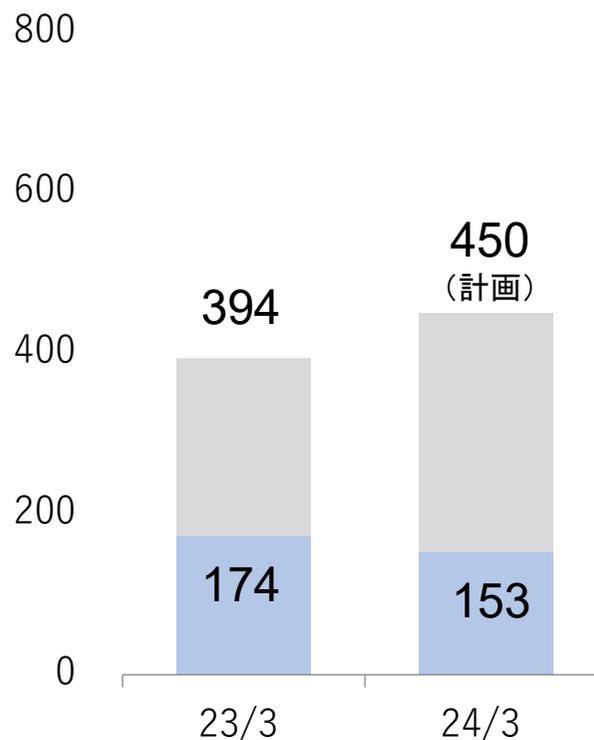
■ 中間  
■ 期末



### 売上高

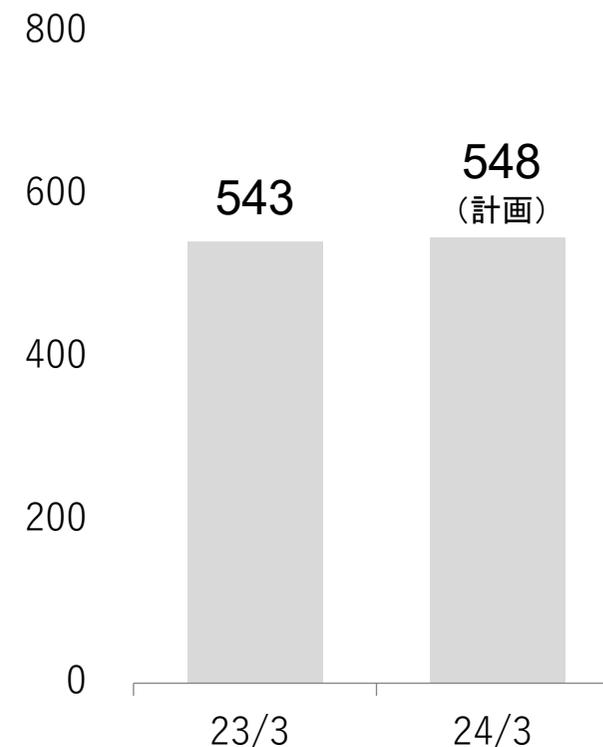
(億円)

■ 中間  
■ 期末



### 受注残高

(億円)



## スマートモビリティ事業

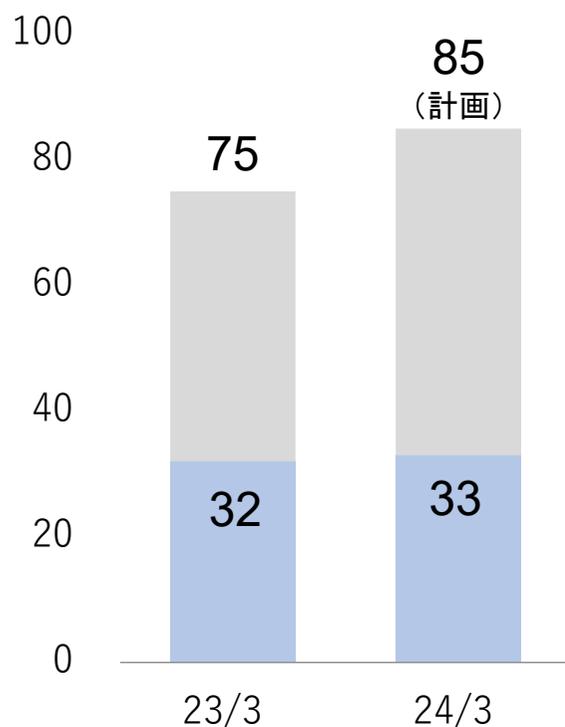
長期を見据えた「既存商材の競争力強化」に加え、交通制約者の移動支援を実現する「高度化PICS」、警察回線を無線化し耐災害性を高める「MVNO事業」等、新商材・新サービスを用いたソリューションを展開していく。

主な事業内容：交通管制システム、交通信号制御機・灯器 ほか

### 受注高

(億円)

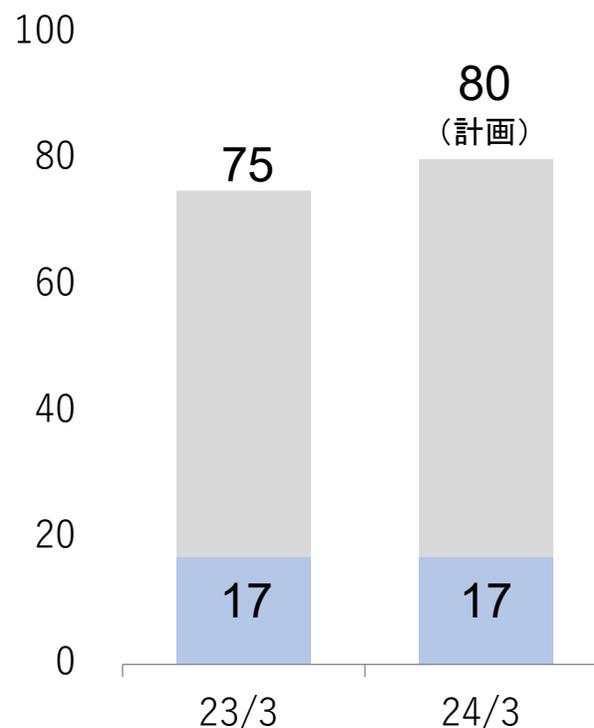
■ 中間  
■ 期末



### 売上高

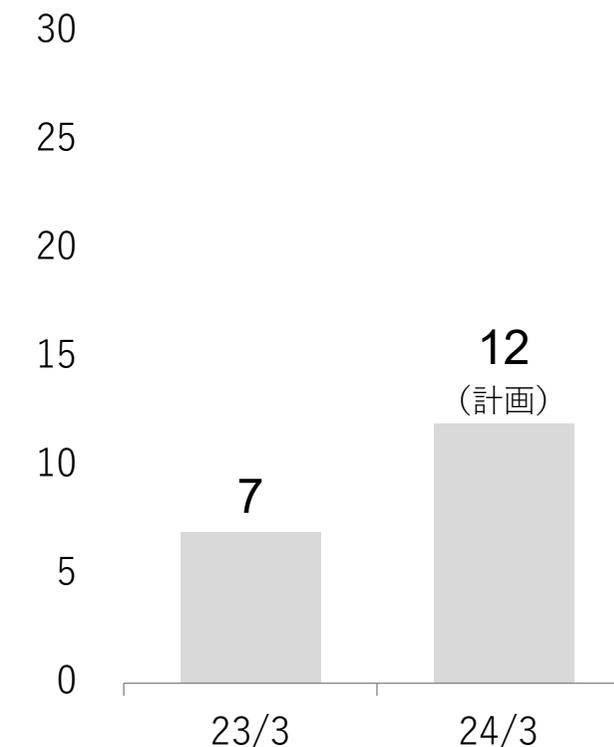
(億円)

■ 中間  
■ 期末



### 受注残高

(億円)



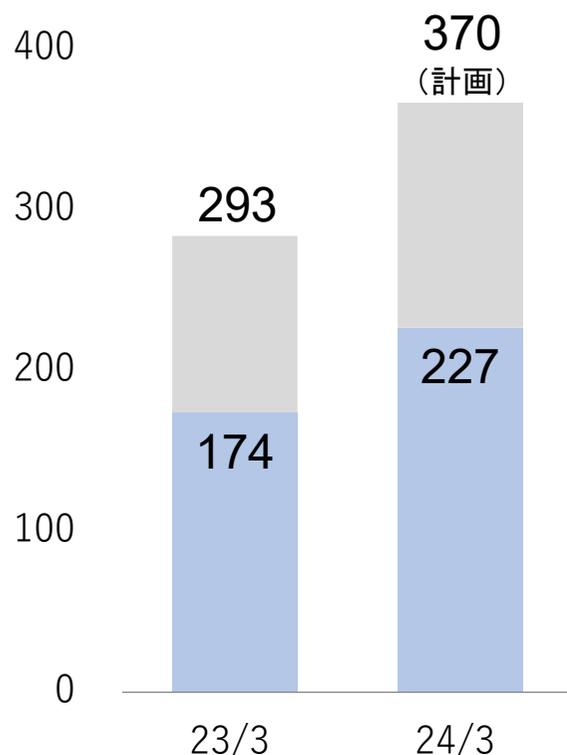
## A F C 事業

DX化を軸とし、固定費削減・集客力向上を観点に製品開発を行い、  
ビジネスモデルの変化や顧客ニーズへの対応を進め、MaaS社会実現に向けた  
取り組みを推進していく。

主な事業内容：自動改札機、ホームドア、駐車場管理システム ほか

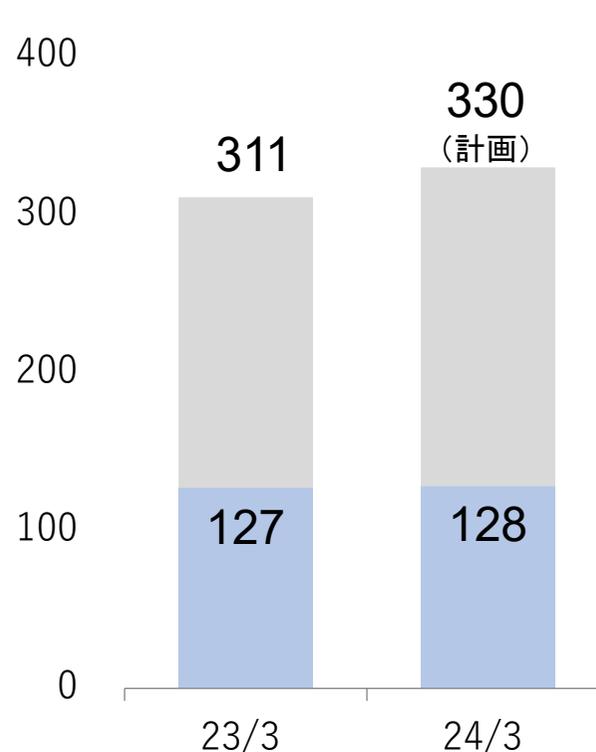
### 受注高

(億円)



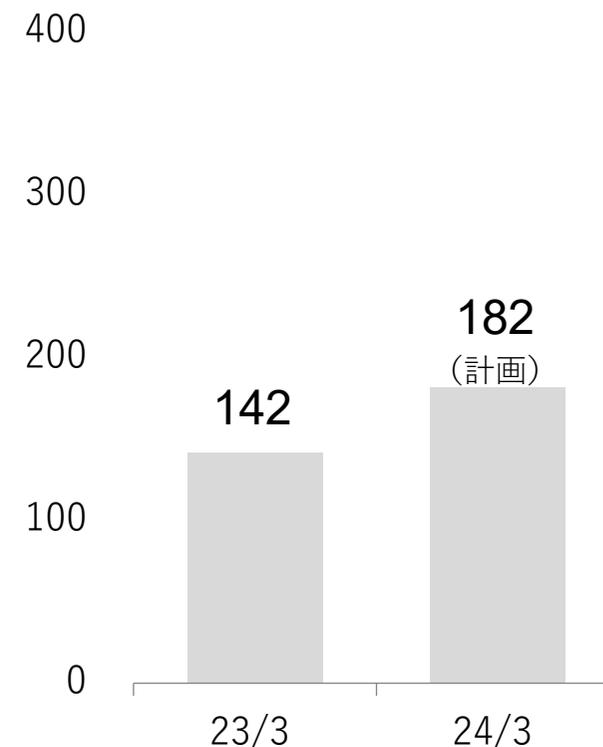
### 売上高

(億円)



### 受注残高

(億円)



# 受注高・売上高・受注残高 推移 (R&S) 計画

## R & S 事業

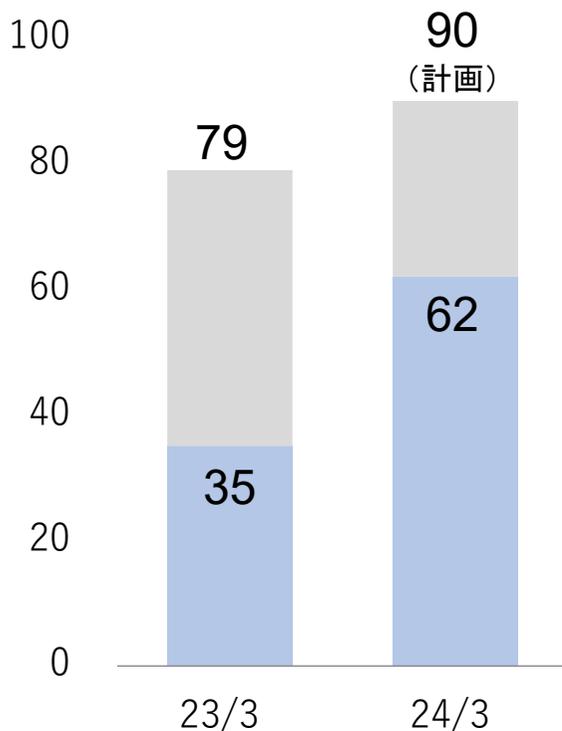
センサ分野では、ホームドアや建機・農機に搭載する3D距離画像センサの拡販に注力する。ロボティクス分野では、当社のセンシングや画像分析等のコア技術を搭載したロボットの社会実装に向けた取り組みを推進する。

※R&S…Robotics (ロボティクス) & Sensing (センシング)

主な事業内容：ロボティクス、3D距離画像センサ ほか

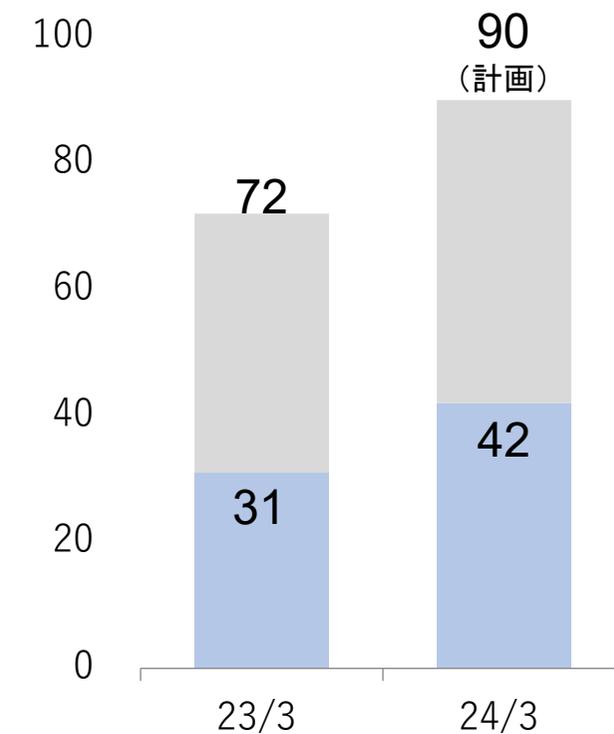
### 受注高

(億円)



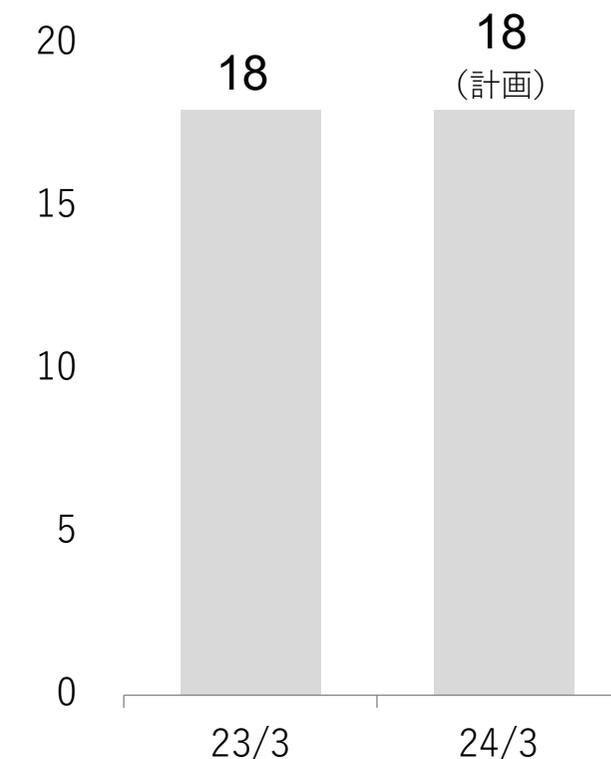
### 売上高

(億円)



### 受注残高

(億円)



# 受注高・売上高・受注残高 推移（通期）

計画

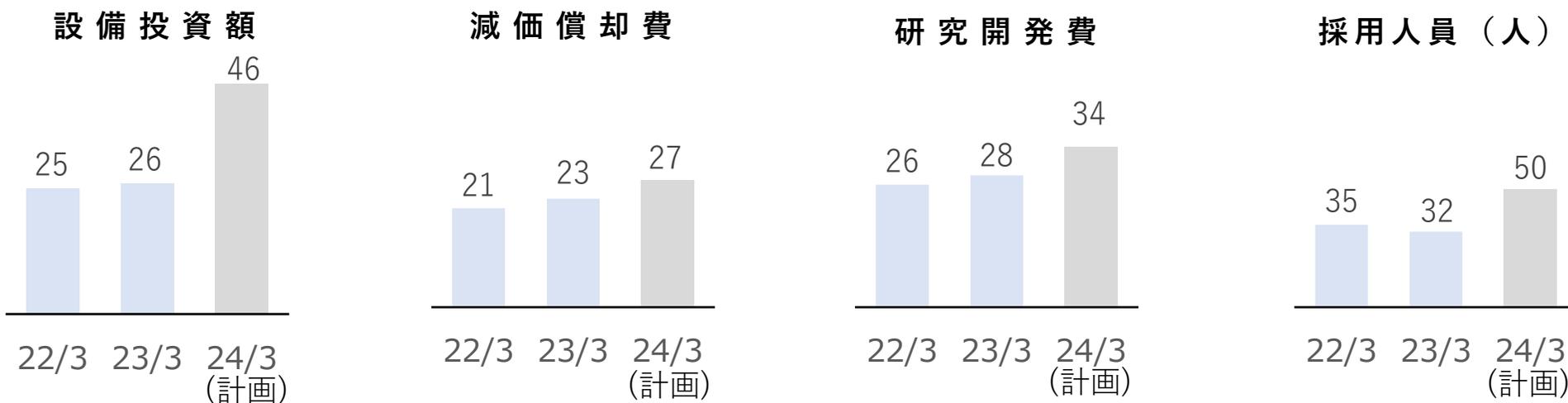
(単位：億円)	2023/3			2024/3（計画）			前期比		
	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高
鉄道信号	541	394	543	<b>455</b>	<b>450</b>	<b>548</b>	▲86	+55	+5
スマートモビリティ	75	75	7	<b>85</b>	<b>80</b>	<b>12</b>	+9	+4	+5
交通運輸インフラ事業	616	470	550	<b>540</b>	<b>530</b>	<b>560</b>	▲76	+59	+10
AFC	293	311	142	<b>370</b>	<b>330</b>	<b>182</b>	+76	+18	+40
R&S	79	72	18	<b>90</b>	<b>90</b>	<b>18</b>	+10	+17	-
ICTソリューション事業	373	384	161	<b>460</b>	<b>420</b>	<b>201</b>	+86	+35	+40
合計	990	854	711	<b>1,000</b>	<b>950</b>	<b>761</b>	+9	+95	+50

# セグメント別（セグメント別利益） 計画

(単位：億円)	2022/3		2023/3		2024/3	
					計画	前期比
交通運輸 インフラ事業	52	51			55	+3
ICTソリューション 事業	33	33			39	+5
全社費用	▲ 31	▲ 33			▲ 34	▲ 0
合計	53	51			60	+8

(単位：億円)	2022/3	2023/3	2024/3	
			計画	前期比
設備投資額	25	26	46	+19
減価償却費	21	23	27	+3
研究開発費	26	28	34	+6
採用人員 (人) ※	35	32	50	+18

※採用人員は当社単体

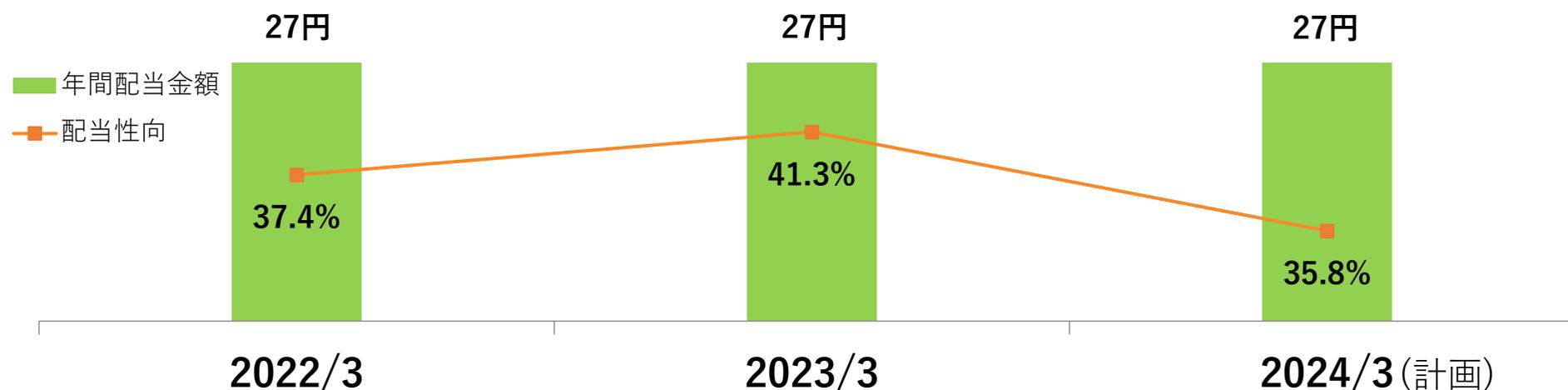


# 利益還元（配当金）について

- 配当については、財務体質の強化を図りつつ毎期の業績・新規投資を勘案しながら、連結配当性向30%前後を目安に安定的・継続的に行うよう努める。  
安定的な配当継続を重視し、年間配当金額は27円を維持。



※配当利回りは年間配当金÷期末株価で算出



## 基本コンセプト 「インフラのNext Stageを支える」

### 重点課題

1 コロナ禍後における  
お客様との価値共創

■ 顧客の経営課題を解決する新たな商材の投入

2 国際事業の拡充と  
収益力向上

■ 延伸・更新案件等における収益力向上

3 ソフトウェアファースト時代の  
設計力・ものづくり力の強化

■ 設計効率化（設計図面の再利用率向上）

■ 原価率の改善、棚卸資産圧縮

4 ESG経営の推進と  
企業価値向上

E：省エネ製品の開発

S：人事制度改革・健康経営の推進

G：リスクマネジメントの強化

■ 次期基幹システム導入推進

■ グループ会社機能再編・内製化

■ 人材育成強化

## 1 コロナ禍後におけるお客様との価値共創

新たなビジネスに向けた商材開発と社会実装を加速させる。

### 1 4 1 期上期の実績

#### 鉄道信号

信号システム 芳賀・宇都宮LRTの開業

---

検知システム 東京メトロ丸の内線・日比谷線レール破断検知システムの受注

---

CBTC※ 西武鉄道多摩川線 実証試験に向けたシステム設計の受注

#### ロボティクス

警備ロボット セントラル警備保障向け販売、次世代試作受注

---

人型重機ロボット JR西日本 多機能鉄道重機を受注

---

※ CBTC …Communications-Based Train Control（軌道回路等の閉塞によらず、無線により地上車上子間で大容量データを通信し、列車を制御制御および防護するシステム）

## 2 国際事業の拡充と収益力向上

大型案件の受注に加え、設計資産の流用による効率化を進め、収益性向上を図る。

### 1 4 1 期上期の実績

#### 鉄道信号

複線化・増車 台湾 花東線複線化、台湾高鉄（新幹線） 車上装置更新・増車対応

---

## 3 ソフトウェアファースト時代の設計力・ものづくり力の強化

人材の強化、育成を目的としたソフトウェアコンテストを実施  
技術力向上を目的としたグループ会社との人材ローテーションを実施

---

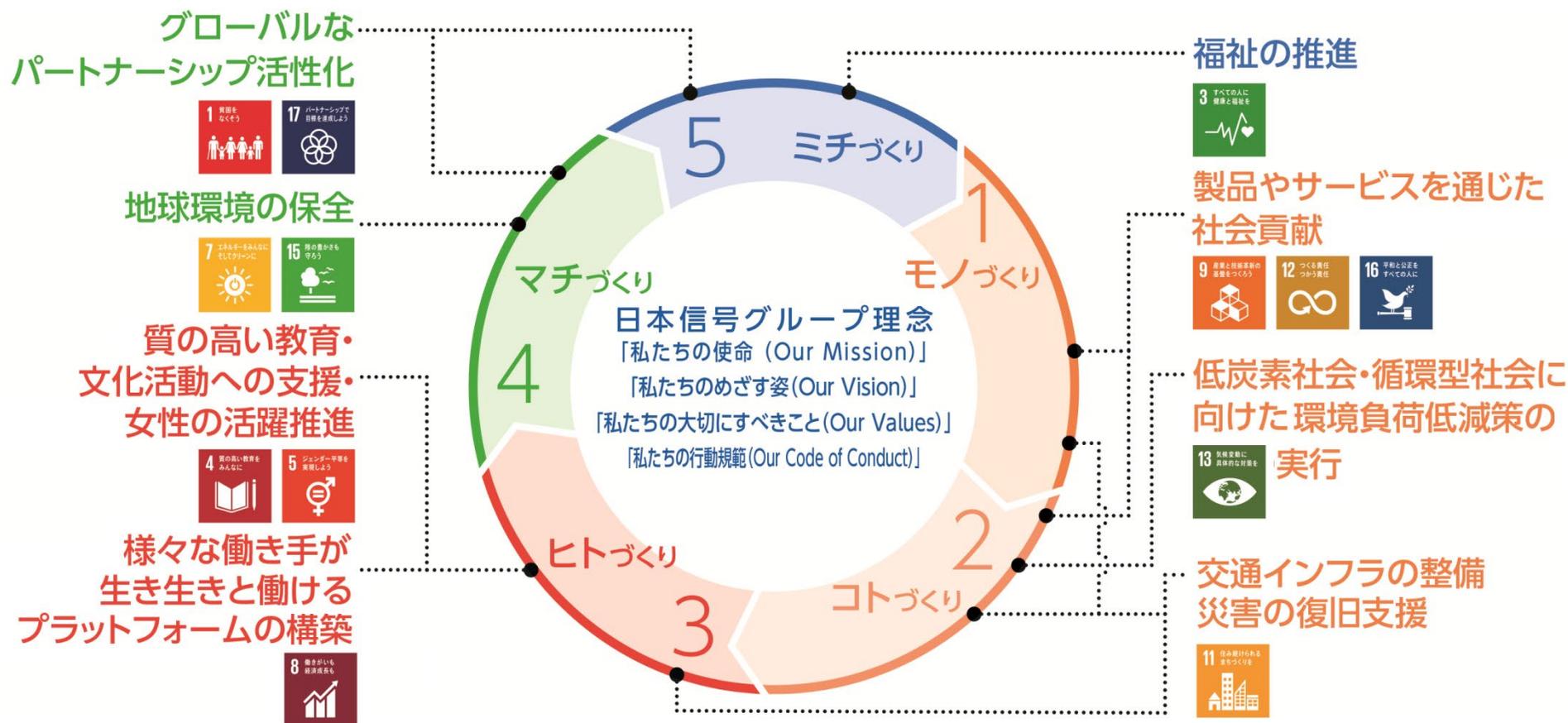
## 4 持続的な価値創造に向けたESG経営の推進

人的資本等のサステナビリティに関する考え方及び取り組みを開示  
取締役会のモニタリング機能を強化するため、監査等委員会設置会社に移行

---

# SDG s への取り組み

日本信号グループは、企業価値を向上し続けていくために、「持続可能な開発目標（SDG s）」を意識した経営を進めていく。



9

産業と技術革新の  
基盤をつくらう



## 芳賀・宇都宮LRT（ライトライン）開業

鉄道信号システムをすべて当社が納入

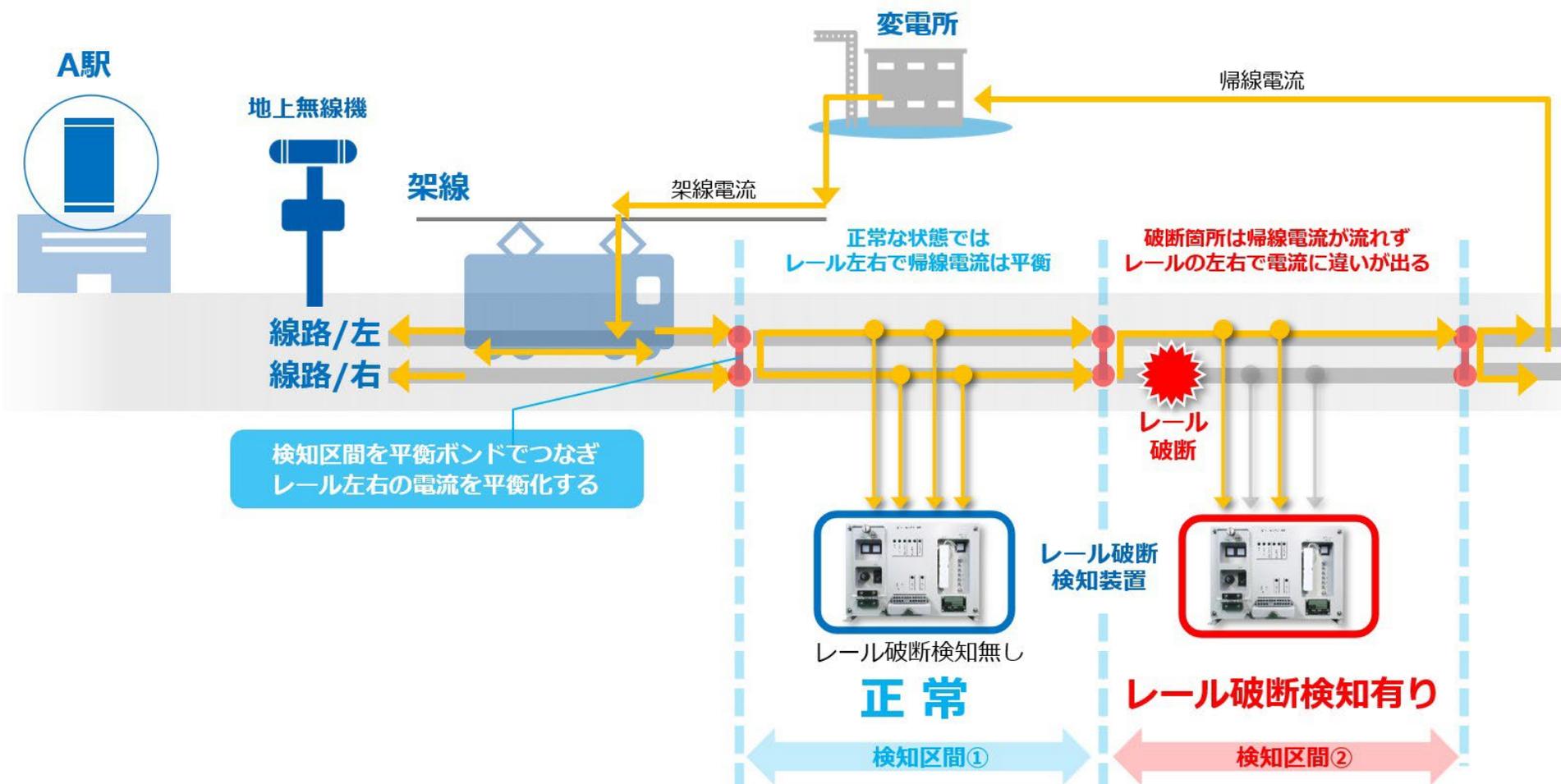


9 産業と技術革新の基盤をつくろう



## 丸ノ内線・日比谷線向けレール破断検知システムを受注

無線式列車制御システム（CBTCシステム）導入に伴い軌道回路が撤去されレール破断を副次的に検知する機能がなくなるため、本システムを導入  
帰線電流を活用してレールの破断情報を出力可能



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



## 阪急電鉄 ホーム監視システム運用開始

使用する検知センサは全て当社製  
外乱光の影響に強いFX10シリーズを採用





## 沖縄都市モノレール 3両化対応

ホームドアの更新増設工事、車上設備の3両化対応を実施



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



## QRデジタルきっぷの実証実験開始

### 任意の乗降駅を選択してデジタルきっぷを購入し、 QRコードにより乗降ができるサービス

よか旅Signal.com  
yokatabi-signal.com

チケットをQRリーダにかざして利用してください。

JR九州 片道乗車券（長崎）



残り時間：04:59



2023/02/03

おとな：1人

長崎 → 諫早

ご購入日：2023/02/03

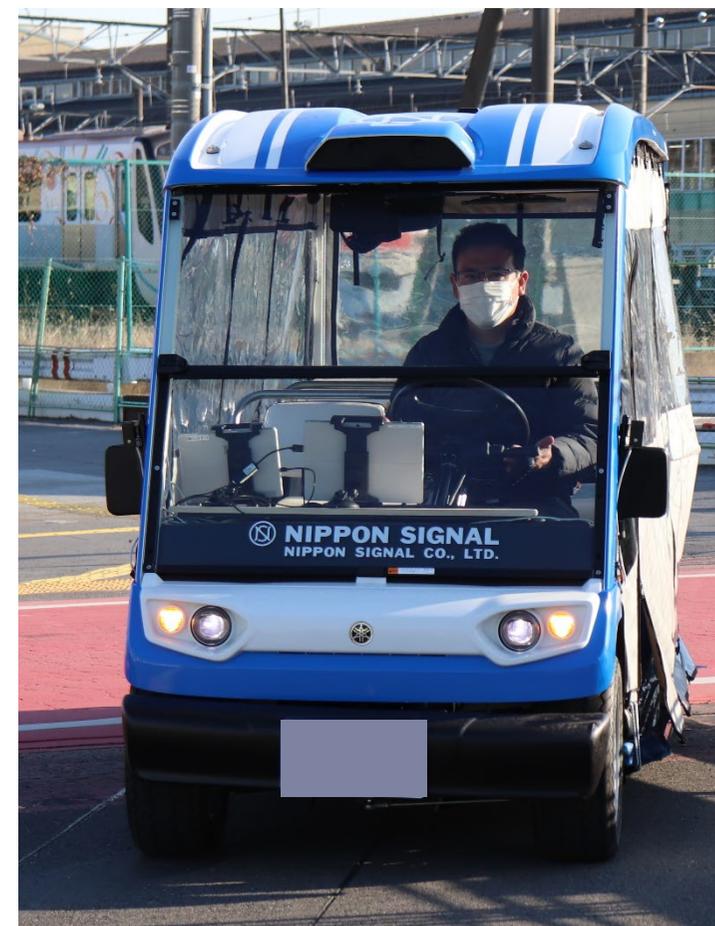


9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



## 浦和美園エリアにおけるくるくるLink<sup>®</sup>実証実験

浦和美園エリアに住む・遊ぶ・働く方々のQOL向上や、  
持続可能なサービス提供を目指す



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



## 秋田県警察本部 交通状況表示板納入

設置したカメラ映像、県内の交通状況を示した  
地図を表示



## G 7 三重・伊勢志摩交通大臣会合 多機能鉄道重機を展示



## G7 三重・伊勢志摩交通大臣会合 セキュリティ機器の協力

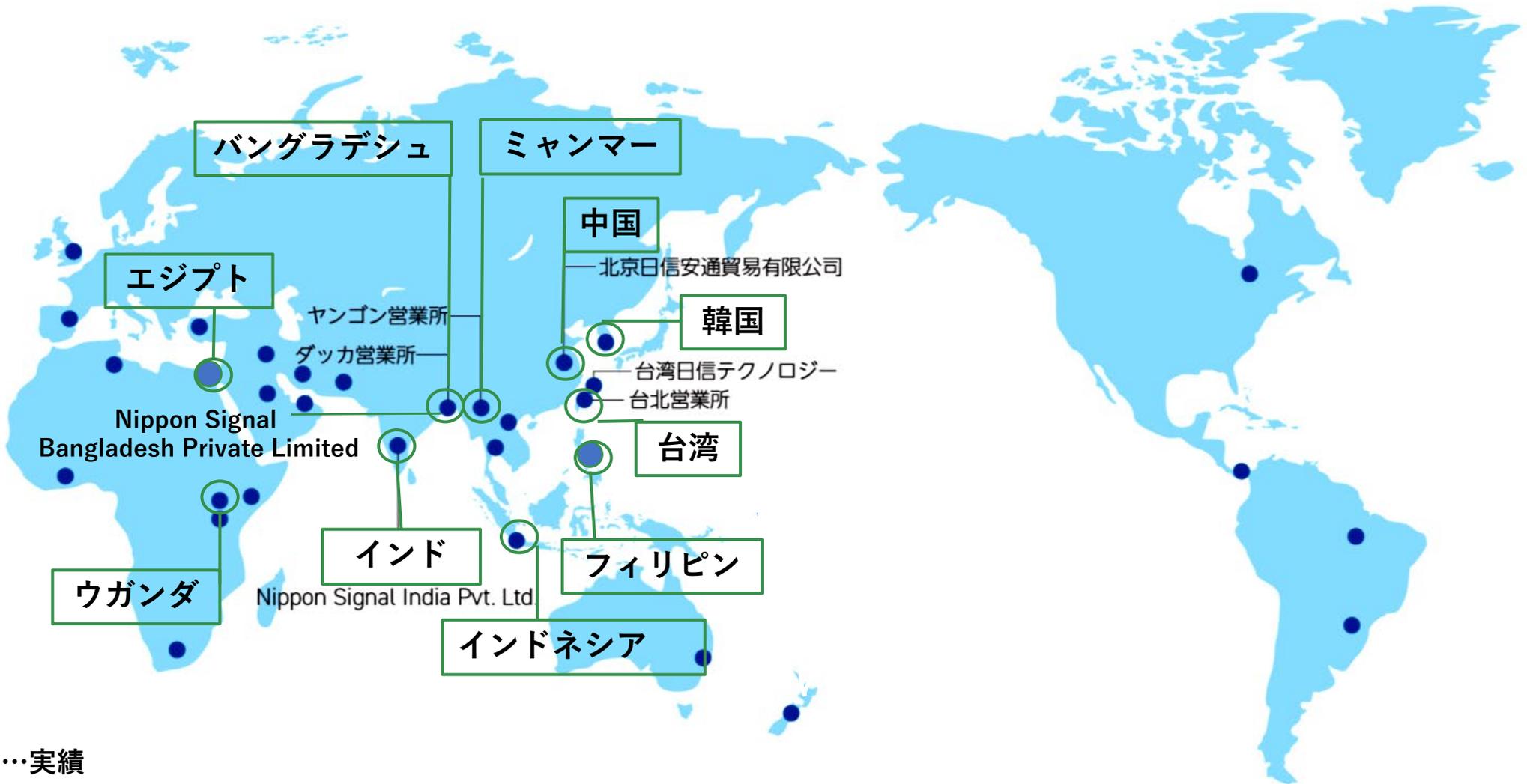
9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



X線手荷物検査装置、ボディスキャナ（開発中製品）  
を貸し出し、機器のオペレーションに協力



## 30の国と地域に展開



● …実績

○ …継続展開予定



## 台湾・花東線複線化 既設設備の改良事業を受注

台湾東部の輸送力増強を目的とした  
花東線（花蓮～知本間）を複線化する工事



台湾北東部から内陸部を走る車両（平溪線）

9

産業と技術革新の  
基盤をつくらう



## ウガンダ交通信号システム受注

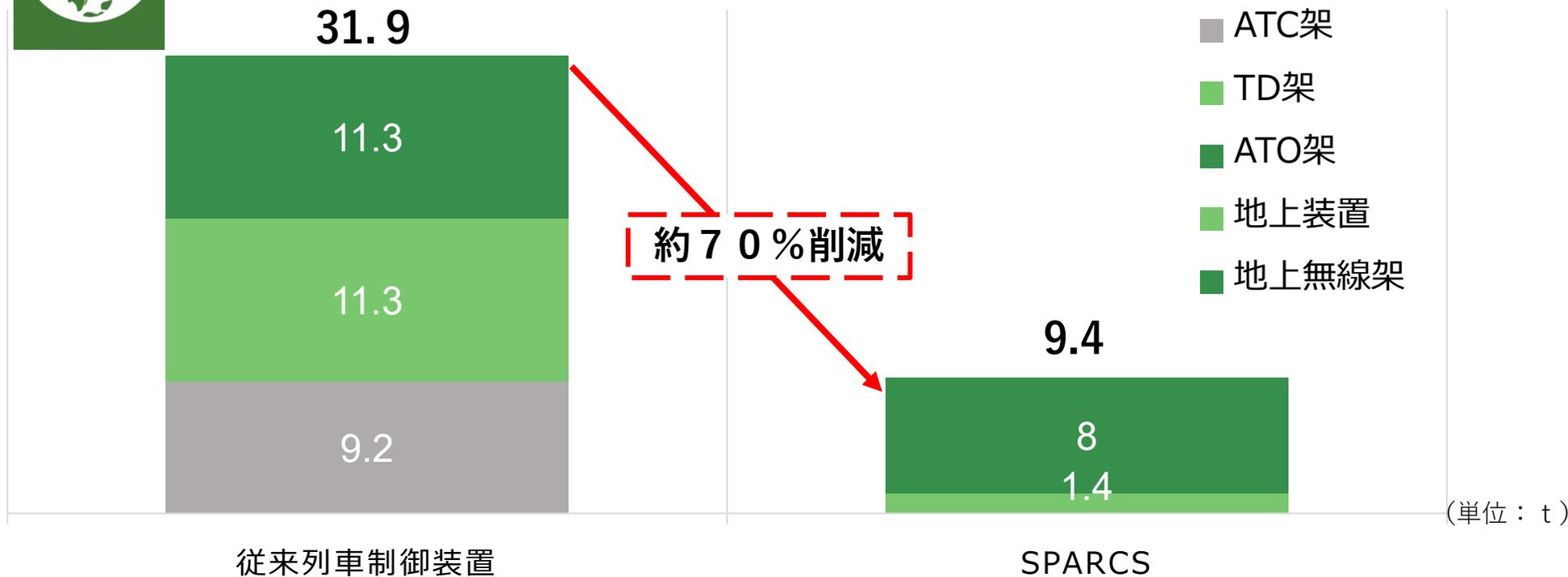
既設 13 か所に加え、新たに 25 交差点設置



## 当社製CBTC（SPARCS）と従来列車制御装置のCO2排出量比較



前提条件  
 路線タイプ： 在来線、鉄輪、複線  
 路線長： 7.5km  
 駅数： 4駅（機器室は一つ）  
 列車編成数： 6編成（全体編成数）  
 無線機間隔： 300m（軌道回路数：50T）



SPARCS (Simple-structure and high-Performance ATC by Radio Communication System)

15 陸の豊かさも  
守ろう



## 日本信号の森 植樹活動



4 質の高い教育を  
みんなに



## 第10回鉄道まつりを開催

2,750名の方が来場



4 質の高い教育を  
みんなに



## こどもの夢ひろば「ボレロ」に協賛

東北の子供たちに夢や希望を与えるイベントに  
当社製品を紹介



業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、これらの予想とは大きく異なる可能性があります。